

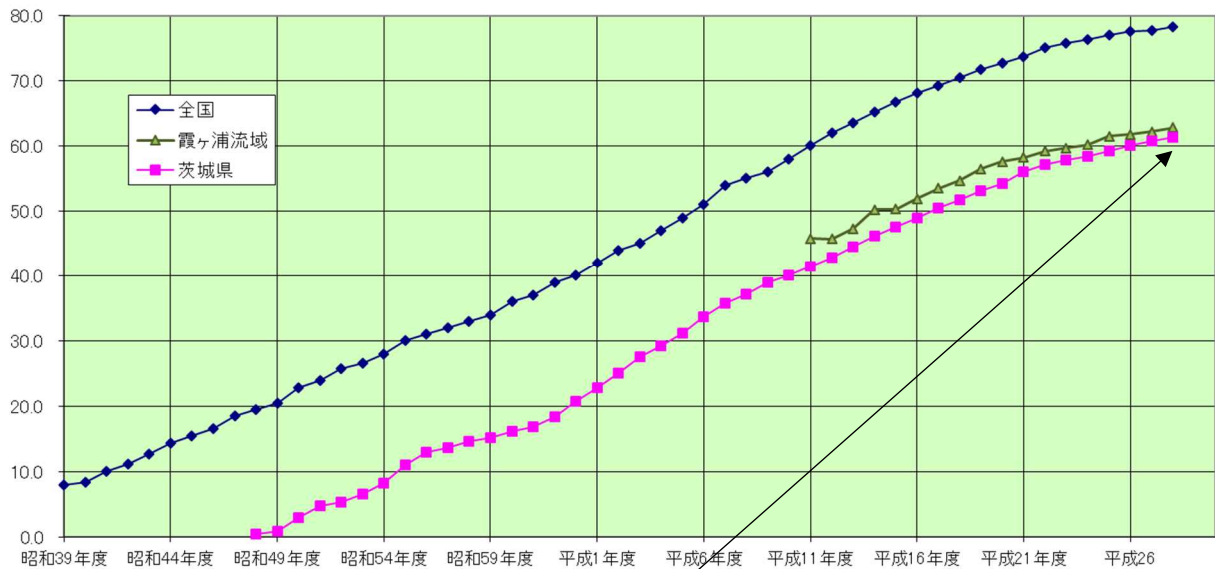
### 3.下水道の整備効果

#### ○下水道普及率

茨城県全体の下水道普及率は、平成 28 年度末で 61.3%となり、全国平均 78.3%を下回り全国第 32 位となっています。(霞ヶ浦流域の下水道普及率は 62.8%)

本県では「生活排水ベストプラン（平成 28 年 6 月改定）」を策定し、汚水処理人口普及率 100%（下水道普及率 79.5%）を目標に普及を進めています。

普及率(%)

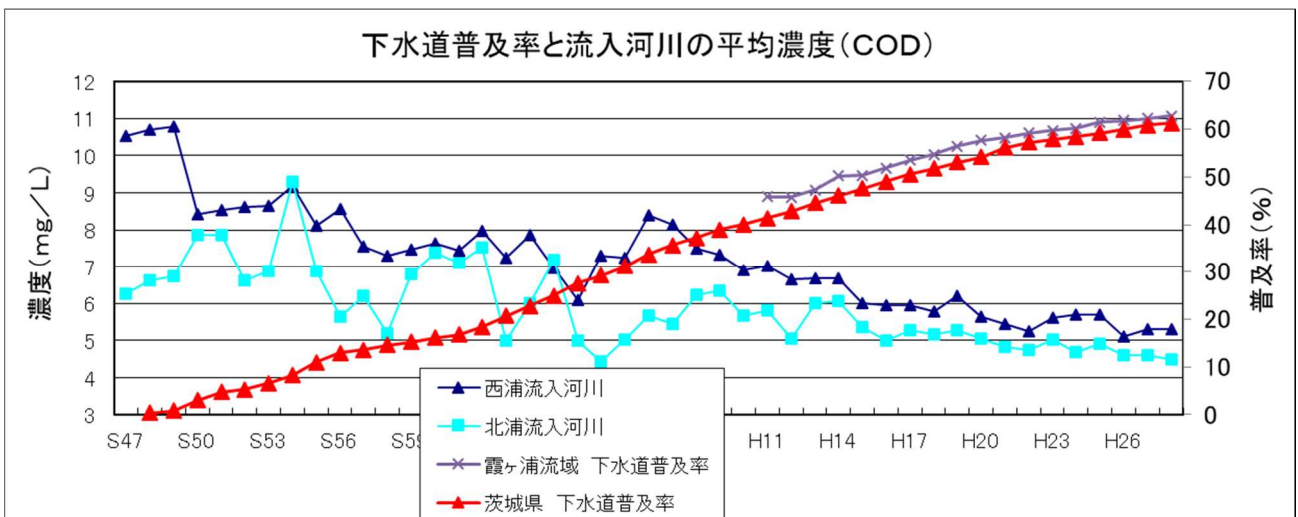


H28 末普及率	
全	国 : 78.3%
霞ヶ浦流域	: 62.8%
茨	城県 : 61.3%

#### ○下水道の普及と霞ヶ浦流入河川水質の経年変化

霞ヶ浦は、湖面積が広いうえ水深が浅く、湖水の交換日数が約 200 日かかることなどから、水質が汚濁しやすい湖です。下水道を整備することで、湖流域の生活排水を処理し、湖に生活排水が直接流入することを防いでいます。

下水道の普及とともに、流入河川のCODや全リン(TP)濃度は減少してきました。全窒素(TN)濃度は畜産や農地からの面源系の負荷が影響し、ほぼ横ばいとなっています。



下水道普及率と流入河川の平均濃度(全窒素)

